

事業提案書要約（草の根協力支援型）

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	カンボジア国
2. 事業名	カンボジア救急医療に関する人材育成体制強化プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	カンボジアは、近年の急速な経済成長に伴うモータリゼーションの進展、都市部の拡大や周辺都市間の交通網の整備が加速し、交通事故による死傷者が多数発生するとともに、主要死因は感染症から心臓病や脳卒中などの非感染性疾患へと移行し、疾病構造が徐々に変化するなど、今後も救急医療ニーズの増大が喫緊の課題となっている。 救急隊が緊急度・重症度の高い傷病者を迅速かつ安全に医療機関へ搬送し、医療機関において系統立った救急診療が実施できる体制を構築するためには、カウンターパート（以下 CP と略す）との協働により救急医療に携わる人材の開発を推進し、持続可能な質の高い救急医療体制を構築する必要がある。
4. プロジェクト目標	救急医療に携わる人材の開発を推進し、持続可能な質の高い救急医療を提供できる人材育成体制が強化される。
5. 対象地域を管轄する大使館又は領事館	在カンボジア日本大使館
6. 本事業の対象となる人々	<直接受益者> 保健省（救急医療担当者）、国立3病院（カルメット病院、クメール・ソビエト友好病院、コサマック病院の Medical Director 及び EMS Instructor）、シエムリアップ州病院及びシアヌーク州病院の医療従事者（医師又は看護師） <間接受益者> カルメット病院、クメール・ソビエト友好病院、コサマック病院の医療従事者（医師、看護師、救急車運転手）並びにシエムリアップ州病院及びシアヌーク州病院の医療従事者（本事業の直接受益者以外の医師、看護師、救急車運転手）
7. 事業活動	1. 病院前救急医療に関する映像教材の製作 2. Medical Director 及び EMS Instructor（プノンペン）に対するフォローアップ研修（TOT フォローアップ研修）の実施 3. 地方都市の医療機関における指導者（EMS Instructor）の育成（TOT 研修） 4. EMS Instructor との協働による救急隊基礎研修（EMT-Basic 研修）の実施 5. メディカルラリー（競技形式による医療機関の救急活動技能を評価）の実施
8. 実施期間	2022年3月～2025年2月（3年0ヵ月）
9. 事業費	10,863千円
10. 事業の実施体制	<日本側> プロジェクトマネージャー、病院前救急医療監修、映像教材・訓練指導、現地調整・クメール語翻訳監修、メディカルラリー、事務・経理 <カンボジア国側> 相手国政府関係機関：保健省（Ministry of Health） カウンターパート機関：国立3病院（カルメット病院、クメール・ソビエト友好病院、コサマック病院）、シエムリアップ州病院、シアヌーク州病院
II. 提案団体の概要	
1. 団体名	学校法人 国士館
2. 活動内容	本学は、4年制大学として日本で初めて救急救命士の国家試験受験資格を取得できるスポーツ医科学科を立ち上げ、また世界でも3つしかない病院前救急システムを学問とする大学院修士・博士課程を設置している。病院前救急医療の研究能力を有する国際的な人材の育成に関しては、日本において最先端の知識と経験があると考えられる。また、防災・BLS教育、イベント救護などを通して病院前救護体制の重要性を学び、東南アジア諸国での病院前救急医療の発展にも貢献できるよう2013年頃から活動を継続的に行っている。